

2014年
3月議会

日本共産党青梅市議団からのお知らせ

青梅市議会3月定例会は、3月26日に閉会。新年度一般会計予算、480億円は賛成多数で可決されました。私たちはいくつかの問題点を指摘し、反対しました。



藤野ひろえ議員 田中みずほ議員

教育

青梅サタデースクールは、学校とよく協議し、特別教室にもエアコンを



- 5月下旬から、第二中学校区と、第三中学校区で東青梅センタービルと、大門市民センターを会場に、毎月第2と第3土曜日に補習授業を、小学4年から中学3年まで開始すること。地域の人材を活用しているが、学校現場と十分な協議が必要です。
- 雪害で被害を受けた三中体育館の解体工事については、今後のスケジュールや工事内容を学校や保護者などに十分な説明と情報提供を求めます。
- 特別教室の冷房化について、都の補助制度を活用し、図書室や、視聴覚室などにも、早期設置を求めます。
- 中学3年生の修学旅行や、小中学生の通学費の補助充実など父母負担軽減に取り組むよう求めます。

行財政改革

による保育所への補助金削減は中止を

- 保育所職員共済制度補助金が、約1,000万円減額となっている。保育士の確保や保育内容充実のために、関係者からも反対の声ががっています。削減はやめるべきです。

防災、災害対策の強化を

- 先日の雪害の対応を教訓に市民の意見を十分聞いて、いっそうの充実強化を求めます。

「梅の里」再生事業の強化充実を

- 梅の里再生計画の周知と、地域住民や商業、農業、観光業者などの意見を十分汲み取り、梅の里施設整備基本計画を絵に描いた餅にしないよう求めます。



無料法律相談は
市議団へ予約を...

なんでも相談、ご意見、ご要望はお気軽に連絡を...

子育て支援

待機児童解消や児童館建設を早く



- 新町西保育園の改築が完了予定で、千ヶ瀬保育園や梨の木保育園の増改築工事が行われるが、待機児が「52人」とのこと、2才未満児が多いので、さらなる定員増が必要です。
- 学童クラブも待機児解消の為に、自治会館の使用を検討する事は問題です。設備の整った専用の施設をつくり、充実すべきです。
- 青梅市子ども・子育て会議の中で、市民ニーズ調査の結果、児童館や子どもの居場所確保が要望として多かった。早急に児童館の建設を求めます。

まちづくり

幹線道路促進より、生活道路の整備を

- 都市計画道路3・5・24号根ヶ布長淵線は、1969(昭44)年に建設省が告示した計画であり、現在の社会経済状況や、環境破壊、住民合意の点でも見直しを求めます。
- 青梅インターチェンジ周辺の開発計画に過去20年間で、基本構想、調査委託など約6千万円を支出しているが、問題も多く進展していない。開発はやめ、農業を守ることと、地元中小企業をもっと応援することを求めます。



2月の雪害で被害を受けた
第三中学校の体育館
(2014年2月撮影)

速報 三中体育館の改築 の設計委託料決まる

4月23日に臨時市議会が開かれ、一般会計補正予算(第2号)が全会一致で可決。

- 2月の雪害による
- ① 農業用施設再建(88農家)に1億2,565万円
 - ② 第三中学校体育館の改築設計委託 3,196万円を計上

日本共産党市議団は、改築工事の完成目途などについて質議。
市側から「早期の再建に向けて努力する」として、時期について、明解な答弁はありませんでした。

2014年 3月議会

主な議案と
各会派の態度

藤野ひろえの一般質問



議案	共産党	市民ク	公明党	改革フ	みどり
平成26年度一般会計予算	×	○	○	○	×
平成26年度一般会計補正予算(三中体育館解体工事)	○	○	○	○	○
平成26年度下水道予算	○	○	○	○	○
青梅市の里再生基金条例(2214万円)	○	○	○	○	○
下水道条例の一部改正の条例(消費税の転嫁)	×	○	○	○	○
平成26年度国民健康保険予算	×	○	○	○	○
平成26年度後期高齢者医療予算(4.4%引き上げ)	×	○	○	○	×
平成26年度介護保険予算	×	○	○	○	○
平成26年度青梅市病院予算	○	○	○	○	○
国民健康保険条例の一部改正の条例(3%引き上げ)	×	○	○	○	○

※○は賛成、×は反対

※市民ク(市民クラブ)、改革フ(改革フォーラム=無所属、社民党、生活者ネット)
みどり(みどりのオンブズマン)

国民健康保険税の引き上げに日本共産党は反対しました。

市民の4割の世帯が加入している青梅市国民健康保険の被保険者の平均所得は93万円で、低所得者、自営業、年金暮らしがほとんどです。国保の財政が大変なのは国が負担金を減らしているからです。高齢者は年金は削減され、4月から70歳以上の医療費も2割負担に増加する人もいます。市は、新年度は、下水道、保育料の引上げを見送りましたが、一般会計から繰入金を増やして国民健康保険税も引き上げを見送るよう求めました。

① 雪害対策について——

青梅市除雪マニュアルの作成や地域防災計画に雪害対策を

2月の大雪は、交通をはじめ、市民生活に大きな影響をもたらしました。日本共産党市議団は、2月17日市長に対し、除雪や交通機関対策など12項目の緊急要望を提出しました。今回の対応を教訓にして、大雪による被害から交通をはじめ、市民生活が安全に確保できるように防災対策の推進を求めました。

<質問>市道の除雪、市内業者との関係や災害応援協定の充実を。防災ハンドブックに除雪マニュアルの補強と、防災計画に雪害対策を。国や都への補正予算の要請を。

<答弁>業者との災害協定の見直しは検討する。防災ハンドブックに除雪を補充する。地域防災計画に雪害対策を補強する。国や郡に復旧のための支援を要請している。

② 子育て支援——

子ども・子育て支援新制度と待機児童解消などについて



政府は、4月から消費税増税を強行し、社会保障と税の一体改革の中で、待機児童解消を図ることや、子ども・子育て新制度を2015年4月から開始しようとしています。市は新年度に青梅市子ども・子育て支援事業計画を策定するとしています。

現在市では、保育園、幼稚園、学童保育など20の子育て支援事業が行われています。事業計画策定にあたり、青梅市子ども・子育て会議が開催され、市民ニーズ調査も行われました。

<質問>市民ニーズ調査の結果や、保育園の待機児の状況はどうか。認可保育園と同様に認定子ども園や保育ママでの保育料も所得に応じて軽減をすべき。児童館の建設を求める。国に対し子育て支援の計画を進めるために財源の確保を要請すべきと求めました。

<答弁>ニーズ調査の結果は、集計中である。4月からの待機児は52名。保育料の軽減は考えていない。児童館についての考えは、既存施設を利用し、児童館の機能を果たしている。子育て支援の財源については市長会を通して要望している。

藤野ひろえ議会報告

日本共産党青梅市議会議員の連絡先
藤野ひろえ ☎ 76-1670/FAX 76-2024
田中みずほ ☎ & FAX 27-2567